

富山県ネイチャーポジティブ宣言について



「ネイチャーポジティブ」とは

自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること（自然再興）

「生物多様性国家戦略 2023-2030」

2030年のネイチャーポジティブの実現を目指し、地球の持続可能性の土台であり人間の安全保障の根幹である生物多様性・自然資本を守り活用するための戦略

富山県ネイチャーポジティブ宣言について



「ネイチャーポジティブ宣言」とは

- 『2030生物多様性枠組実現日本会議』がステークホルダーに呼びかけている、「ネイチャーポジティブの実現に向けて、未来にむけた活動を表明し、一步前進するための“ネイチャーポジティブを目指す宣言”」
- 発出企業・団体数 502団体
(うち都道府県3県 群馬県、徳島県、鳥取県)
(10月15日現在)

富山県ネイチャーポジティブ宣言について



＜富山県ネイチャーポジティブ宣言＞

- 富山県の豊かな生物多様性は、地域社会の持続的な発展や県民のウェルビーイングの向上に不可欠
- それを将来に引き継ぐため、様々な分野の施策と連携し、ネイチャーポジティブの実現を図る

富山県ネイチャーポジティブ宣言

「寿司といえば、富山」のブランディングを推進している本県には、寿司をはじめとする豊かな食文化があります。

これは、標高 3,000m級の北アルプス立山連峰から水深 1,000mの富山湾まで高低差 4,000mのダイナミックで変化に富んだ地形と、そこから生み出される豊富な水資源、また、多様な動植物が生息する豊かな自然環境により、もたらされた恵みの一つです。

本県の生物多様性は、そこに暮らす人々の文化や伝統、多彩な食、自然観を形成するなど、地域社会の持続的な発展や県民のウェルビーイングの向上に不可欠なものです。

富山県は、この豊かな生物多様性を将来に引き継ぐため「富山県生物多様性保全推進プラン」に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に努めるとともに、気候変動対策や資源循環等の様々な分野の施策と連携し、ネイチャーポジティブの実現に取り組むことを宣言します。

令和8年10月20日
富山県知事 伊藤 八朗

富山県ネイチャーポジティブ宣言について



<今後の対応>

○とやまネイチャーポジティブフォーラム

日時：令和8年10月24日(土) 13時

場所：富山産業展示館（テクノホール）
（「とやま環境フェア2026」内）

○関係団体との連携

「黒部川流域ネイチャーポジティブ・
コンソーシアム」（10月8日設立）など



10月8日 黒部川流域ネイチャーポジティブ・
コンソーシアム設立総会にて

担当：自然保護課